

海外投融资情報財団(JOI)について

海外投融资情報財団(JOI)は、我が国企業の海外直接投資の動向、海外におけるエネルギー・インフラ・資源開発、新興国の投資環境とビジネス機会等に関する情報を、当財団が主催するセミナー、調査研究、機関誌やウェブサイトを通して、会員企業および一般の皆さまに提供します。かかる活動を通して会員相互の情報の交流、ネットワーク拡大を図り、我が国企業の海外直接投資・国際ビジネスの促進に寄与します。

設立 平成3年12月16日(大蔵大臣認可):国際協力銀行(当時、日本輸出入銀行)・商社・製造業企業、公益事業会社、金融機関等170社の出捐により設立
平成22年11月1日(一般財団法人移行)

会員 本邦主要メーカー、建設・エンジニアリング会社、商社、通信・電力・ガス会社、金融機関、内外弁護士事務所、会計事務所、コンサルティング会社、各国大使館等 約200先(平成27年5月現在)

会員制度(賛助会員)のご案内

当財団会員にご入会いただきますと、以下のサービスを受けることができます。

- (1) 当財団が主催、後援、協力するセミナー(年間70件程度)へのご招待(無料)
 - (2) 会員と当財団によるセミナー共催
 - (3) 機関誌「海外投融资」(隔月発行)の無料配布、当財団ウェブサイトに掲載する機関誌記事の閲覧・検索
 - (4) 当財団ウェブサイトに掲載する調査報告書、セミナー動画等の閲覧
- 会費(年間):大企業36万円、中堅企業・地域金融機関24万円、中小企業12万円、個人6万円

海外投融资

Vol.24 No.3(通巻141号)
2015年5月18日発行

発行

一般財団法人 海外投融资情報財団

発行人

牛島 義章

〒102-0073

東京都千代田区九段北二丁目
3番6号 九段北二丁目ビル

TEL. 03-5210-3311(代)

FAX. 03-5210-3456

制作協力

(株)エディポック

*本誌に掲載されている記事の内容や意見は、海外投融资情報財団の公式見解を示すものではありません。

●禁 無断転載

All rights reserved. No part of this magazine may be reproduced in any form or in any means without written permission from the publisher.
©Japan Institute for Overseas Investment 2015
Printed in Japan



拓さんの

九段だより

●結婚

最近、“1.5次会”という文字を目にする機会があった。1.5次会とは、結婚式→披露宴→2次会という結婚式の通常の流れのうち、披露宴と2次会をまとめて合理的・経済的に行おうというものらしい。海外挙式、入籍済婚、神社婚などのほか、オメダタ婚(または授かり婚、できちゃった婚)の場合などにおすすめとある。

オメダタ婚といえば、欧米では一般に(各言語で)“Shotgun Wedding”、また韓国では「速度違反結婚」と呼ぶらしい。スペイン語では“casarse de penalti”(ペナルティ結婚)という表現もあるようだ。わが国には、オメダタ婚が婚姻全体に占める割合についての統計はないが、厚生労働省統計^{※1}「結婚期間が妊娠期間より短い出生の嫡出第1子出生に占める割合」によれば、母親の年齢階級別で、15~19歳がおよそ80%、20~24歳が60%あまりで、全体では25%に達する。しかし、この数字は近年ほぼ安定している。

毎月平均300万人が閲覧するといわれる口コミ・サイト「みんなのウェディング白書」^{※2}(2014年)によれば、2次会をやった組とやらなかった組は、それぞれ50%および

48%で拮抗しており、1.5次会のシェアは2%にすぎない。一方、結婚式・披露宴で実際に支払った金額は最多が300~350万円(16%)で、次いで350~400万円(14%)などとなっているのに対し、カップルが最終的に負担した金額は最多が50万円未満(23%)とさほどの負担にはなっていないようである。やはりカップル周辺者のために1.5次会が提案されるのだろう。

1.5次会という新しいスタイルに加え、最近では挙式自体も、宗教色のない人前式が増えてきている。「通過儀礼のうちでも結婚式や葬式は伝統を色濃く残す」という世界的常識は、少なくともわが国では当てはまらなくなりつつあるようだ。

※1 「出生に関する統計」(平成22年度)

※2 株式会社みんなのウェディング



(調査部長 山本 拓)